

創立110周年記念 「めざせ!! 21世紀薩摩スチューデント」事業 概要案

1 ねらい

- ① 甲南高校の教育目標である「地球規模でものを考え行動するリーダーの育成」を図る機会とする。
- ② 派遣生徒においては、異文化に直接触れ見聞を広めるとともに、学習の成果を踏まえた現地での交流を通じて、グローバルなコミュニケーション力や学ぶ意欲を高める。
- ③ 派遣生徒の事前、事後の活動等を刺激として、他の生徒の意欲の向上も図り、学校全体の活力をさらに押し上げる。
- ④ 同窓会と在校生のつながりをより緊密にする機会とする。

2 同窓会と学校の関係の整理

- ① 甲南高校同窓会が創立110周年記念事業として実施する。
- ② 同窓会は、学校に海外派遣事業を教育活動として運営することを委託する。
- ③ 学校は、同窓会に定期的に活動状況を報告し、必要に応じて両者で協議する。
- ④ 同窓会が派遣生徒に係わる機会を適宜設ける。(壮行会, 報告会, 授業参観等)
- ⑤ 同窓会は、海外派遣の事前研修等において、講師等の人材情報を提供する。

3 海外派遣の在り方

- ① 国内外でグローバル人材の育成が求められ、学校もスーパーグローバルハイスクールに指定されたことに鑑み、スーパーグローバルハイスクールとしての教育課題に積極的に取り組む生徒を選抜し派遣する。
- ② 当面派遣する国は台湾、イギリスとするが、訪問国、研修内容、日程等は、今後の状況を見ながら、適宜検討する。また、派遣の人数、生徒（保護者）負担についても、状況を見ながら、適宜検討する。

4 スーパーグローバルハイスクール（以下SGH）について

(1) SGHとは・・・4p参考

- ① グローバルリーダー育成に資する研究開発を行う学校のことであり、社会課題に対する課題研究を大学等と連携して行うことが主なねらいとなっている。
- ② 課題研究に関連して生徒を海外に派遣することが求められてはいるが、**SGH＝国の海外派遣事業ではない。**
- ③ 今後、SGHで課題研究に取り組み、問題解決力等の力を付けた生徒を求める大学が難関大学を中心に増えていくと思われる。
- ④ 全国の高校での生徒海外派遣の取組も、海外経験をさせることに重きを置く発想から、**大学との連携等で事前学習を充分に行い、課題意識をしっかりと持たせて派遣するSGH型の取組に移行しつつある。**

(2) 本校の状況

- ① 本校は今年度からSGHとしての新しいカリキュラム（W-KIにおける課題研究、Advanced English等）に取り組んでいる。生徒はその中で学ぶことにプライドを持って臨んでおり、学習意欲は高い。

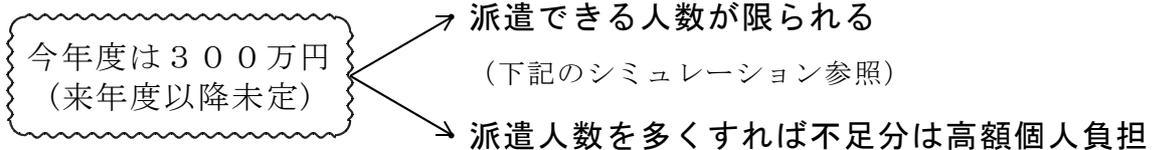
- ② 課題研究のテーマ「人口問題」に関して大学等と連携し専門家の指導も受けており、また、台湾事前研修も専門家から指導を受けることができた。
- ③ その取組で「がんばれば台湾やイギリスに行ける」ことで、生徒のモチベーションは高い。生徒の努力に応えたい。

5 本海外派遣事業とSGHの関係

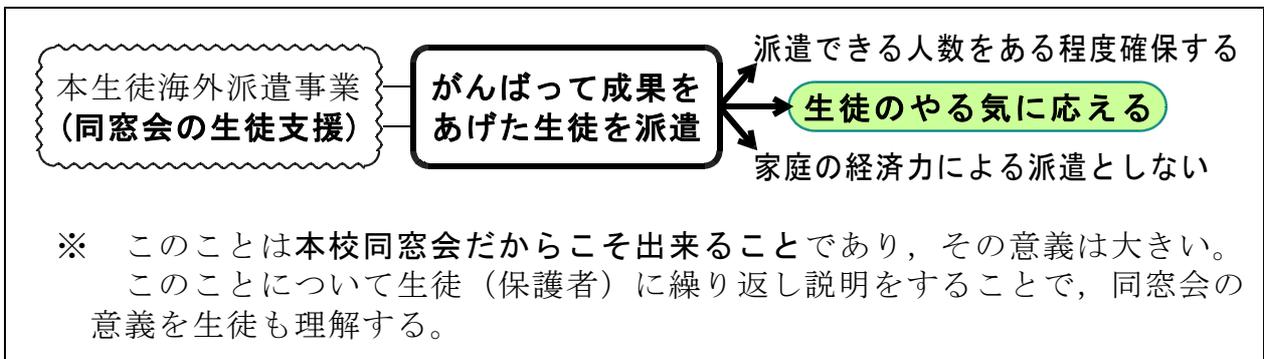
(1) 確認

2/14実行委員会です承を得た本生徒海外派遣事業の内容(1p)は、SGHとして行うことが求められる海外派遣事業の内容と合致している。

(2) SGHの海外派遣予算の問題点



(3) 本海外派遣事業により、日本一のSGHの取組が実現する。



参考 シミュレーション

台湾経費24万円、イギリス経費37.5万円、SGHの海外派遣予算300万円として

- ① 生徒の負担無しとして単純計算すれば、SGHの予算内で派遣できる人数は以下ようになる。

台湾4人×24万円+イギリス5人×37.5万円=283.5万円→人数が限られる

- ② SGHの海外派遣予算300万円の範囲で、台湾15人、イギリス15人を派遣するとすれば、高額な生徒負担が生じる。→払える生徒しか行けない

台湾 経費24.0万円-SGHから例えば7万円=生徒負担16.0万円
イギリス経費37.5万円-SGHから例えば13万円=生徒負担24.5万円

台湾へ	SGH7万	生徒負担:16万円
イギリスへ	SGH13万	生徒負担:24.5万円

- ★ 同窓会からの生徒支援があればこそ、がんばった生徒を学校の代表として送り出せる。